

東京清掃労働組合

一組総支部通信

一組総支部 事務局
 一組本庁支部内 fax6238-0504
 tel6238-0502
 e-mail seisou-ichkumi@w7.dion.ne.jp

執行委員長 岡沢 徹
 副委員長 教宣担当 武藤幸治
 編集 教宣部長 福田雄一

集会の目的

労働組合としての体制を強化するためには、全組合員自らが率先して闘いに参加するための組織強化が重要である。特に大衆行動を基本とした運動上の改善を行い、団結強化を勝ち取るとともに、次代を担う活動家の育成についても重要な課題と位置付け、本部・各支部役員が泊り込みでの討論を交わし、意思統一を図ることとする。

主な討論の柱は、各闘争時の大衆行動や上部団体からの指令行動などの配置、地域共闘の取組み等について、各支部の取組み状況や参加体制などを中心に分散会で討論する。

勤務条件統一交渉と同様に清掃事業執行についても、区長会との統一交渉が確認され、清掃課長会との意見交換も定期的に行なわれている。

「労働組合の陣形が整った今こそ自らの足元を見つめ直し足腰を強化することが必要である。」と第33回組織集会以基調報告されている。

清掃労働者に掛けられる攻撃は大変に厳しいものがあるが、全組合員が一丸となり、困難課題に立ち向かい闘うことによって、強固な組織が確立される。「本部・地連・総支部・支部」を貫き通し、討論を行うことにより、全組合員の団結を勝ち取ることを目的に開催する。

第34回本部組織集會を開催



組織強化に向けた課題を討論

2009年6月7日より8日まで、箱根路開雲にて本部組織集會が開催され、各支部、地連より145名の支部組織部長、書記長が集い、基調提起、分散会を進行する各地連単位の議論、討論を展開した。

陣形が整った今、足腰を強化しよう！

金問題、人事任用について、組合として待ったなしの取り組みを展開していかねばならない。我々の身分問題、清掃に対する交渉のルールなどさらに強化をしていくことが大前提になる。

本集會において、参加した全員が有意義な討論をして、問題提起し、各支部、地連、総支部の組織の強化を団結で勝ち取ろうと挨拶した。都本部関連協の来賓挨拶、報告

を受け、次に、本部大島書記長による基調報告が提起された。区移管後の組織集會である第27回組織集會(2001年3月28、29日)の実施要綱では、「東京清掃労働組合としての組織的な取り組み(本部・支部)」「地連の活用(支部間交流)」「区内支部連絡(支部内強化)」はどうであったかについて

を総括に向け討論を行い、今後の職場闘争の強化と組織強化について意思統一を図る。また、予算・人員要求闘争の総括案に反映する。」を目的に掲げ開催されました。

第29回組織集會(2003年7月28、31日)の基調は、「組織整備方針では2006年度以降も引き続きわが組合は、単組して活動することを確認している。このことも踏まえての組織強化が求められてい

る。」とし、「中間処理部門である清掃一部事務組合のあり方についても7月16日に開催された区長会総会で一定の考え方が示された。」ことも報告されています。第30回組織集會(2004年3月18、19日)は、「2003年度・2006年度問題の到達点の正確な認識の統一を図るとともに、今後取り組みべき課題について意思統一する」を基調としていま

しなければならぬ状況も出てきている。組合の組織化についても意見が交わされた。区派遣職員、新規採用職員、交流職員の組織的な対応や、説明の持ち方など早急な検討が必要である。

活動予定と日程

- 7月2日 第50回 自治研集會
- 3日 一組総支部常任委員会
- 8日 親睦交流ボウリング大会 東京ドームボウル
- 10日 一組総支部執行委員会
- 17日 一組総支部常任委員会
- 22日 一組総支部執行委員会
- 24日 親睦交流野球大会のキャプテン会議開催 本部5階
- 29日 一組総支部支部委員会文化厚生活動の推進、野球、ボウリング大会の実施、組織対策、異動問題、安全衛生課題、労働災害対策

えんとつ

皆既日食は興味ありませんか？7月22日に、日本で、皆既日食が見られる地点は、鹿児島県十島村(トカラ列島の悪石島付近)を中心に、北限屋久島の北部と種子島の南部、南限：奄美大島奄美市名瀬付近となつています。日本で皆既日食が見られるのは実に46年ぶりとなります。



一組総支部分散会

集會二日目の7月8日は、一組総支部全体の分散会が開催されました。議論された内容は、各支部状況、組織率、人員形態など、事前のアンケートに沿って細かに支部単位の報告があった。アウトソーシングによる人員削減の影響、工場10年、20年後の姿はどうなるのか、責任ある事業の推進等、問題が山積している。

一組総支部内の工場支部については、一ケタの組合員になり減少傾向を余儀なくされている。今こそ、団結が重要視されて来ている。報告の内容では、工場設備のトラブル、廃プラに関する問題点、搬出の問題等があり、具体的に燃焼に関して不適物の搬入が多く、立ち下げを

さらに、一組総支部の今後については、まず、一組総支部のありかた、各支部の体制の強化を図る。清掃本部に何を求め、望んでいくか。これからの、工場委託(アウトソーシング)にどう戦うのか等、すべてに関する内容討論の持ち時間も不足ぎみの分散会でしたが、引き続き、今秋に開催予定の一組総支部学習決起集會などでさらなる議論を交わすことが必要である。



島トカラ付近が有力です。奄美の天体観測のクラブ仲間から、データや定点をいただきましたが、そのクラブ員も当方と年代も同じようですので、体を大事にして、記録しようと呼びメールを送りました。